



2019年12月期 第2四半期

# 決算説明会資料

2019年8月21日

日機装株式会社

(東証一部 6376)

免 責 事 項

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものです。将来の業績については、経営環境の変化等に伴い本資料の予想数値とは異なる可能性があります。

# 目次

I. 連結業績

II. セグメント別業績

III. 業績見通し

IV. 国内拠点再編

V. CIグループの現状と今後の展望について

Appendix

会社情報

# I. 連結業績

---

2019年12月期 第2四半期  
**連結業績 概況**



百万円

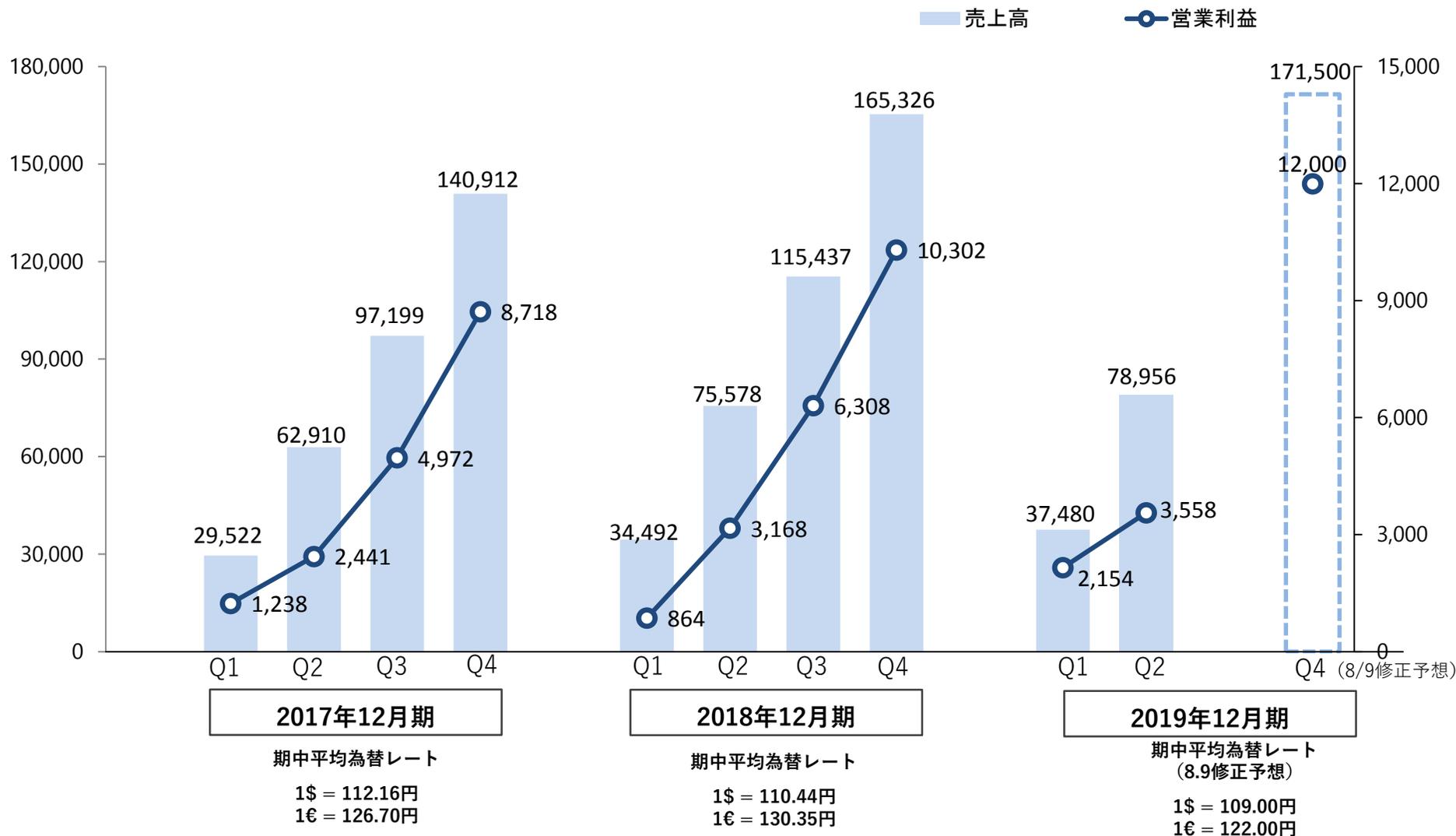
	2018年12月期 実績 (2018年1-6月)	2019年12月期 実績 (2019年1-6月)	増減額	増減率
受注高	84,730	85,908	+1,178	+1.4%
売上収益	75,578	78,956	+3,378	+4.5%
営業利益	3,168	3,558	+390	+12.3%
利益率	4.2%	4.5%		
税引前利益	2,762	2,999	+236	+8.6%
利益率	3.7%	3.8%		
親会社の所有者に帰属する 当期利益	2,033	1,905	△128	△6.3%
利益率	2.7%	2.4%		
期中平均為替レート				
対米ドル (円)	108.67	110.06	+1.39	-
対ユーロ (円)	131.55	124.32	△7.23	-

## 損益内訳

百万円	2018年12月期 実績 (2018年1-6月)	2019年12月期 実績 (2019年1-6月)	増減額	説明
<b>売上総利益</b>	<b>25,772</b>	<b>25,663</b>	△109	
- 販管費および一般管理費	△22,967	△22,366	+601	海外子会社の販管費減少
- その他の収益	430	307	△122	
- その他の費用	△67	△45	+21	
<b>営業利益</b>	<b>3,168</b>	<b>3,558</b>	+390	
- 金融収益	342	385	+42	
- 金融費用	△864	△1,058	△193	為替差損
- 持分法による投資損益	116	112	△3	
<b>税引前利益</b>	<b>2,762</b>	<b>2,999</b>	+236	
<b>海外子会社業績換算レート</b>				
- 対米ドル(円)	108.67	110.06	+1.39	
- 対ユーロ(円)	131.55	124.32	△7.23	

# 四半期累計業績の推移

百万円



## II. セグメント別業績

---

## セグメント別業績

百万円		2018年12月期 実績 (2018年1-6月)	2019年12月期 実績 (2019年1-6月)	増減額	増減率
工業部門	受注高	54,598	55,780	+1,182	+2.2%
	売上収益	46,786	49,919	+3,132	+6.7%
	セグメント利益 利益率	2,666 5.7%	3,453 6.9%	+787	+29.5%
インダストリアル事業	受注高	39,826	41,403	+1,576	+4.0%
	売上収益	33,567	35,674	+2,107	+6.3%
精密機器事業	受注高	6,705	5,623	△1,082	△16.1%
	売上収益	5,156	5,466	+309	+6.0%
航空宇宙事業	受注高	8,016	8,588	+572	+7.1%
	売上収益	8,005	8,600	+595	+7.4%
医療部門	受注高	30,132	30,128	△3	△0.0%
	売上収益	28,791	29,037	+246	+0.9%
	セグメント利益 利益率	2,164 7.5%	1,912 6.6%	△251	△11.6%
全社費用等	セグメント利益	△1,663	△1,808	△144	-

# インダストリアル事業の概況

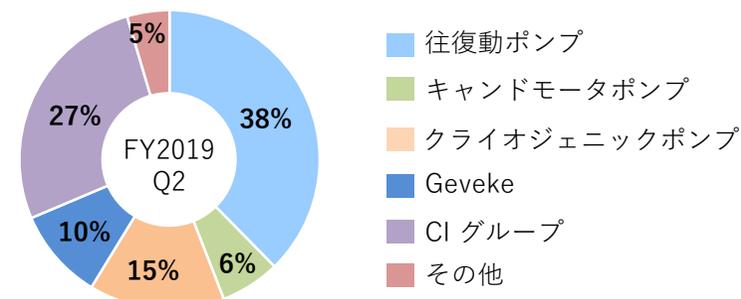
## 1. 事業の概況

- ✓ 足元の原油価格水準では、上流分野の原油・ガス採掘市場、および下流分野の石油化学関連市場双方で投資が再開。LEWA社はアフターセールス事業も伸長し、増収増益。
- ✓ LNG受入基地の増加など世界的な市場成長に伴い、大型のクライオジェニックポンプの受注が伸長。  
米国子会社（NCI※1、CIグループ※2）の業務運営を一体化し、※1生産・技術開発、※2販売の強化を図る。
- ✓ 国内生産拠点の再編を決定。国内生産機能の宮崎工場への集約による生産能力拡大等を通じ、キャンドモータポンプ、クライオジェニックポンプ事業のさらなる拡販と収益力向上を目指す。

## 2. 業績の概況

## 3. 製品別売上収益構成比

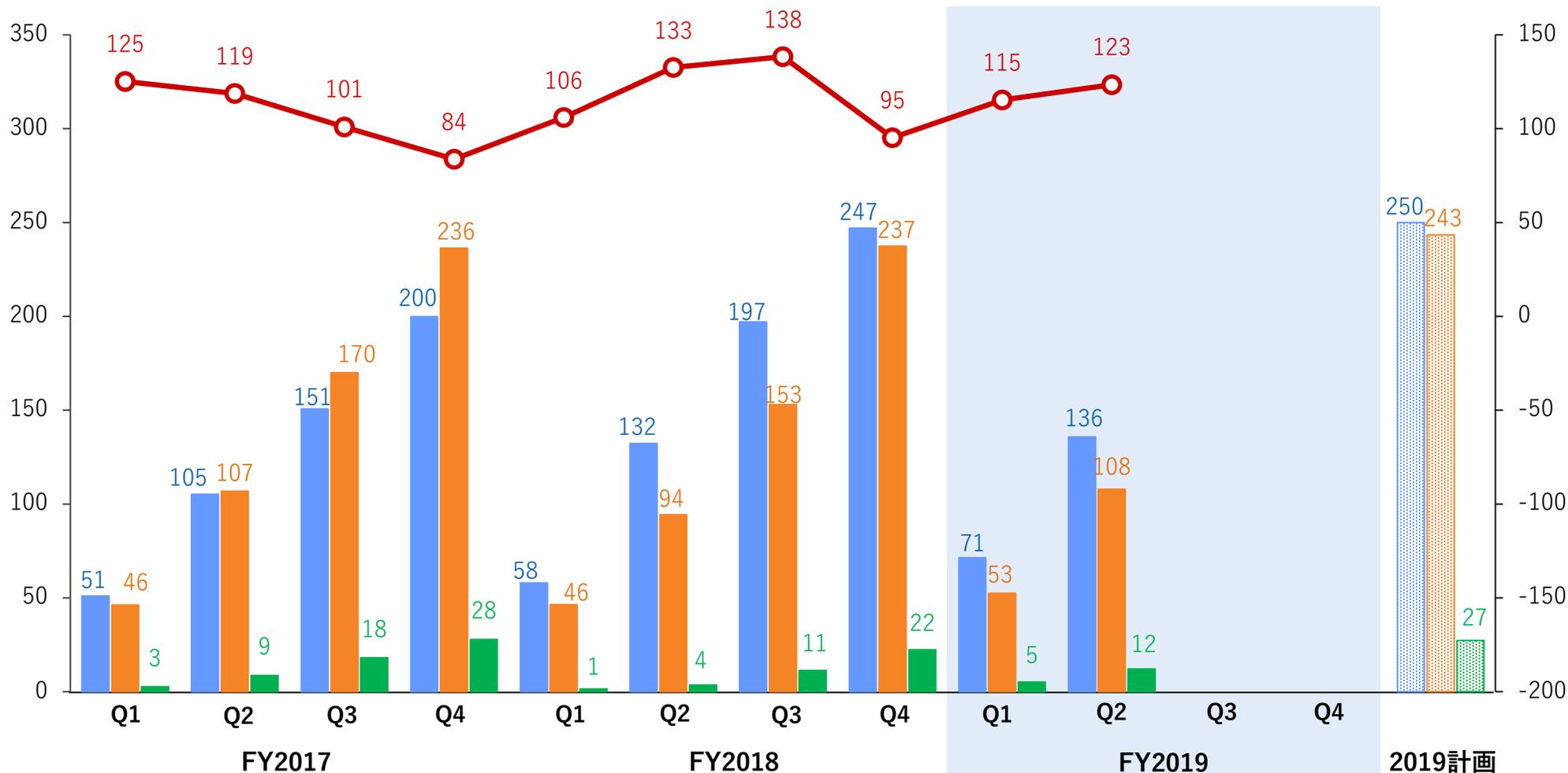
百万円	2018年12月期 実績 (2018年1-6月)	2019年12月期 実績 (2019年1-6月)	前年同期比	
			増減額	増減率
受注高	39,826	41,403	+1,576	+4.0%
売上収益	33,567	35,674	+2,107	+6.3%



# LEWA社 四半期累計業績の推移

百万€

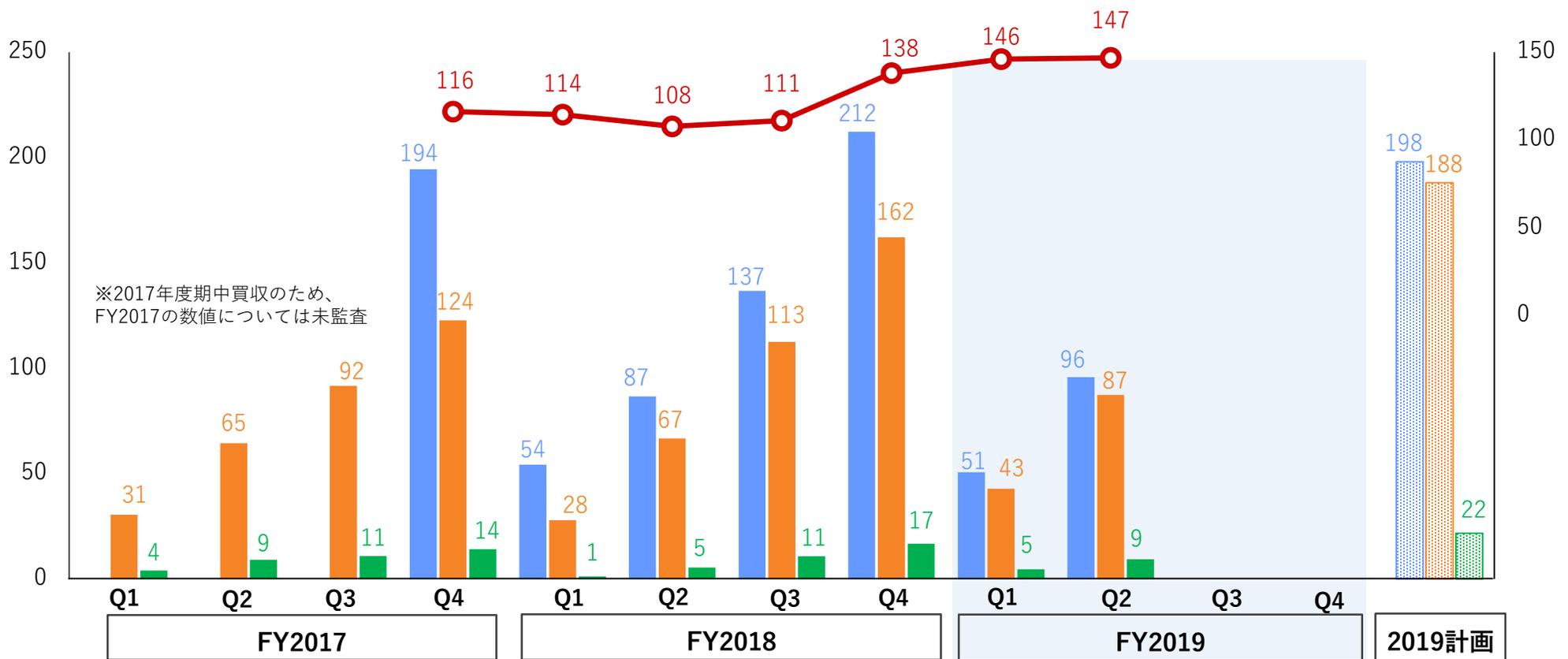
■ 受注高 (左軸) ■ 売上収益 (左軸) ■ EBITDA (左軸) ● 受注残高 (右軸)



# CIグループ 四半期累計業績の推移

百万\$

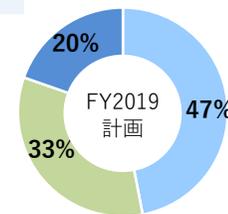
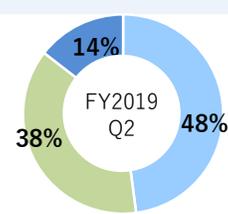
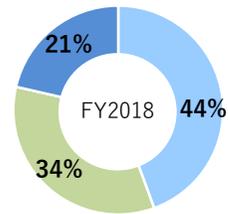
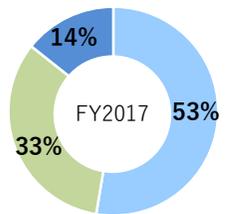
■ 受注高 (左軸) ■ 売上収益 (左軸) ■ EBITDA (左軸) ● 受注残高 (右軸)



※2017年度期中買収のため、FY2017の数値については未監査

セグメント別 売上収益構成比

- ACD
- Cryoquip
- Cosmodyne



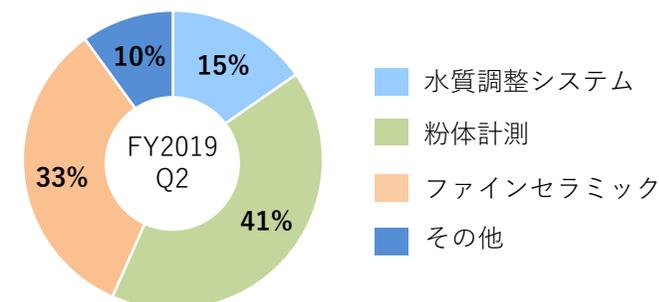
## 1. 事業の概況

- ✓ 発電所向け電力事業は、国内市場の低迷により低調。
- ✓ 電子部品製造業界向け事業は、アップル・ショックや米中貿易摩擦を受けた設備投資の減速により、受注高は減少するも、既受注案件が順調に進展し、増収増益を確保。
- ✓ 粉体計測機器事業は、当該事業を担う連結子会社のマイクロトラック・ベル株式会社および Microtrac, Inc. の全株式の譲渡を2019年7月8日に実行。

## 2. 業績の概況

	2018年12月期 実績 (2018年1-6月)	2019年12月期 実績 (2019年1-6月)	前年同期比	
			増減額	増減率
受注高	6,705	5,623	△1,082	△16.1%
売上収益	5,156	5,466	+309	+6.0%

## 3. 製品別売上収益構成比



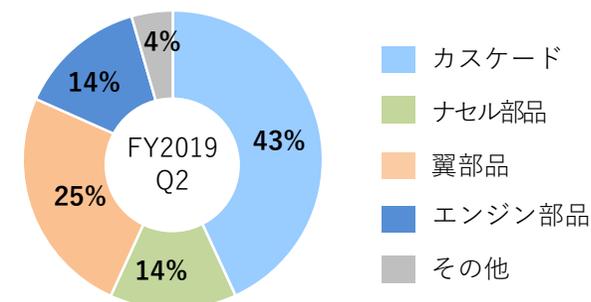
## 1. 事業の概況

- ✓ 小型機（単通路機）を中心とした民間航空機需要は東南アジアを中心に拡大傾向が続き、当社への引合いも順調に増加。
- ✓ エンジン部品の出荷が伸長し、全体として増収基調。
- ✓ 昨年竣工した宮崎工場の減価償却費等の経費増加により減益。今後、宮崎工場の安定稼働、拠点集約によるコスト最適化など事業基盤の強化により収益力向上を図る。

## 2. 業績の概況

	百万円		前年同期比	
	2018年12月期 実績 (2018年1-6月)	2019年12月期 実績 (2019年1-6月)	増減額	増減率
受注高	8,016	8,588	+572	+7.1%
売上収益	8,005	8,600	+595	+7.4%

## 3. 製品別売上収益構成比



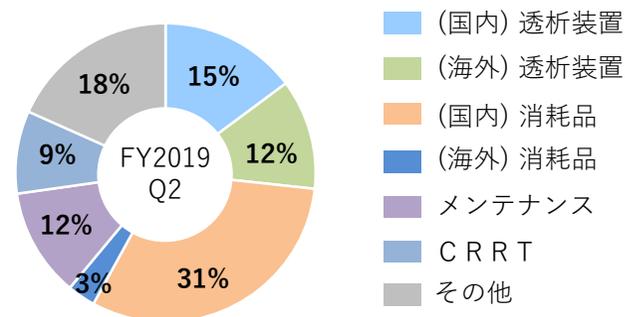
## 1. 事業の概況

- ✓ 国内の血液透析事業は、市場環境は引き続き厳しい状況にあり、競争激化による単価下落に加え、新型透析装置の上市を見据えた購入先送りなどにより低調。
- ✓ 国内市場は血液回路等の消耗品全般の販売が伸長。海外市場は欧州での装置販売が伸長。血液透析事業全体の売上は前年同期並みとなるも、国内の経費増加が利益を圧迫し、減益。
- ✓ 事業再建中のCRRT事業は、主力市場である中国での装置、消耗品販売が堅調に推移し、前期比では増収となるも、その他市場での不振を賄うには至らず、前期並みの赤字。

## 2. 業績の概況

	百万円		前年同期比	
	2018年12月期 実績 (2018年1-6月)	2019年12月期 実績 (2019年1-6月)	増減額	増減率
受注高	30,132	30,128	△3	△0.0%
売上収益	28,791	29,037	+246	+0.9%

## 3. 製品別売上収益構成比



## III. 業績見通し

---

粉体計測機器事業の株式譲渡に伴う株式売却益の計上および下期連結除外、国内拠点再編に伴う支出、業績予想前提の為替レートの変更等を踏まえ、通期業績予想を修正

百万円	2018年12月期	2019年12月期	2019年12月期	前年同期比		期初予想比
	実績	期初業績予想	修正業績予想	増減額	増減率	増減額
受注高	172,492	174,000	171,500	△992	△0.6%	△2,500
売上収益	165,326	172,000	170,000	+4,673	+2.8%	△2,000
営業利益	10,302	11,000	12,000	+1,697	+16.5%	+1,000
利益率	6.2%	6.4%	7.1%			
税引前利益	9,741	10,600	11,200	+1,458	+15.0%	+600
利益率	5.9%	6.2%	6.6%			
親会社の所有者に帰属する 当期利益	7,448	7,800	8,200	+751	+10.1%	+400
利益率	4.5%	4.5%	4.8%			
平均為替/業績予想前提 レート						
対 米ドル (円)	110.44	109.00	109.00	△1.44		0.00
対 ユーロ (円)	130.35	125.00	122.00	△5.35		△3.00

2019年12月期 為替感応度 (1円 円安になった場合)

米ドル (円)	売上収益	+4.3億円	営業利益	+0.8億円
ユーロ (円)	売上収益	+3.7億円	営業利益	+0.6億円

## セグメント別業績の見通し

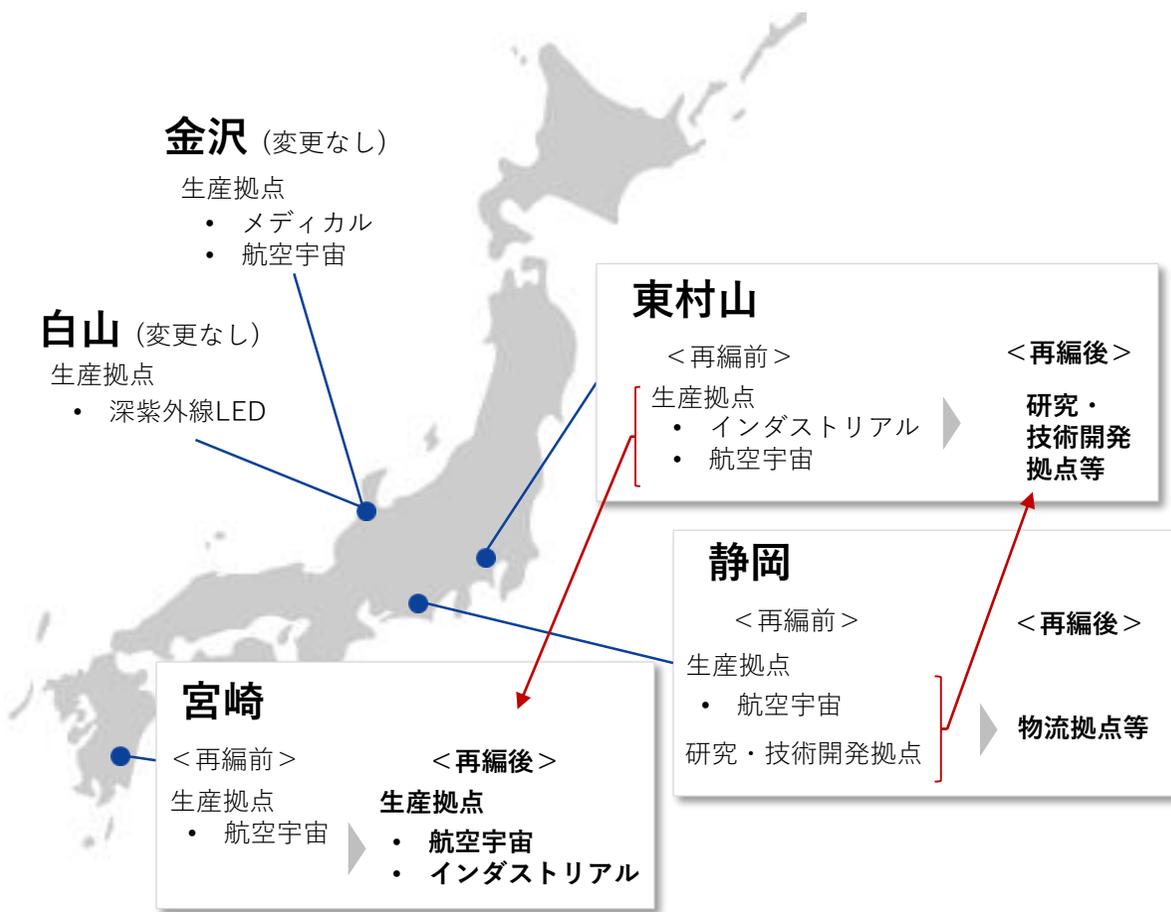
百万円		2018年12月期 実績	2019年12月期 期初業績予想	2019年12月期 修正業績予想	前年同期比 増減額	期初予想比 増減額
工業部門	受注高	111,459	109,800	107,200	△4,259	△2,600
	売上収益	104,501	107,800	105,700	+1,198	△2,100
	セグメント利益	8,140	8,600	8,000	△140	△600
	利益率	7.8%	8.0%	7.6%		
インダストリアル 事業	受注高	82,238	79,900	79,900	△2,338	0
	売上収益	76,763	77,900	77,900	+1,136	0
精密機器事業	受注高	12,204	12,600	9,200	△3,004	△3,400
	売上収益	10,682	12,600	9,700	△982	△2,900
航空宇宙事業	受注高	16,884	17,300	17,600	+715	+300
	売上収益	16,909	17,300	17,600	+690	+300
医療部門	受注高	61,032	64,200	64,300	+3,267	+100
	売上収益	60,824	64,200	64,300	+3,475	+100
	セグメント利益	5,582	6,400	6,000	+417	△400
	利益率	9.2%	10.0%	9.3%		
全社費用等	セグメント利益	△3,419	△4,000	△2,000	+1,419	+2,000

## IV. 国内拠点再編

---

# 国内拠点の再編について

**目的** 生産能力拡大を図ると同時に、生産体制や機能の集約・最適化により収益性向上を図る



## スケジュール

- 2019年** 宮崎クライオジェニックポンプ試験設備  
宮崎インダストリアル工場 建設開始
- 2020年** 宮崎クライオジェニックポンプ試験設備  
宮崎インダストリアル工場 建設完工予定
- 2021年** 東村山から宮崎へ、ポンプ生産移管完了
- 2022年末** 国内生産拠点再編完了予定

## 事業別生産拠点

- インダストリアル事業： 宮崎
- 精密機器事業： 東村山
- 航空宇宙事業： 金沢、宮崎
- メディカル事業： 金沢
- 深紫外線LED事業： 白山

## V. CIグループの現状と今後の展望について

---

## 経営陣

Director & CEO : Peter Wagner  
Director & Executive Vice President : 網野 久直  
Vice President & CFO : Russell Higgins

## 本社所在地

米国カリフォルニア州

## 設立年

1958年

## 売上高

162.3百万USD(連結:2018年12月)

## 従業員数

654名

## 子会社数

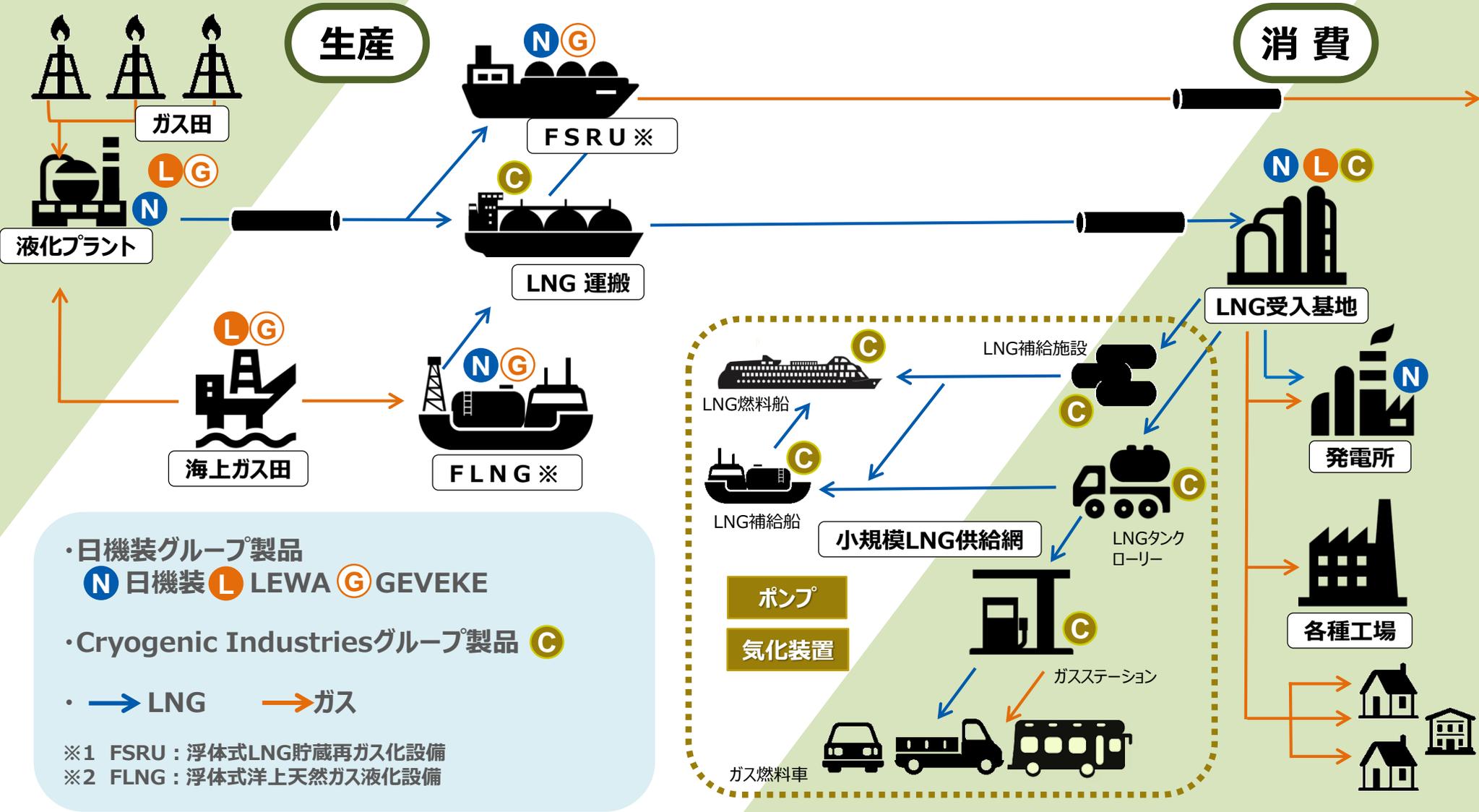
22社

## 主要事業内容

極低温液化ガス向け機器装置、小規模LNG液化プラント、  
および工業ガス精製・液化プラントの製造・販売  
ACD社: 遠心・往復動ポンプ、ターボエキスパンダの製造・販売  
CRYOQUIP社: 気化器(空温式、各種熱媒利用)の製造・販売  
COSMODYNE社: 空気分離、ガス精製・液化プラントの製造・販売

# CIグループ獲得の狙い

グループ全体で川上から川下までの“トータル・バリューチェーン”を一気通貫で網羅



## Cryogenic Industries グループ

Cryogenic Industries, Inc.

【コーポレート部門】

子会社等の経営管理・統括

【ポンプ・関連機器部門】

ACD社



遠心 / 往復動ポンプ

ターボエキスパンダ

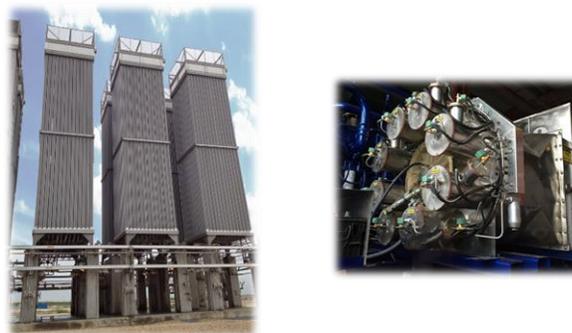


【熱交換器部門】

Cryoquip社



空温式気化 / プロセス気化装置



【プラント建設】

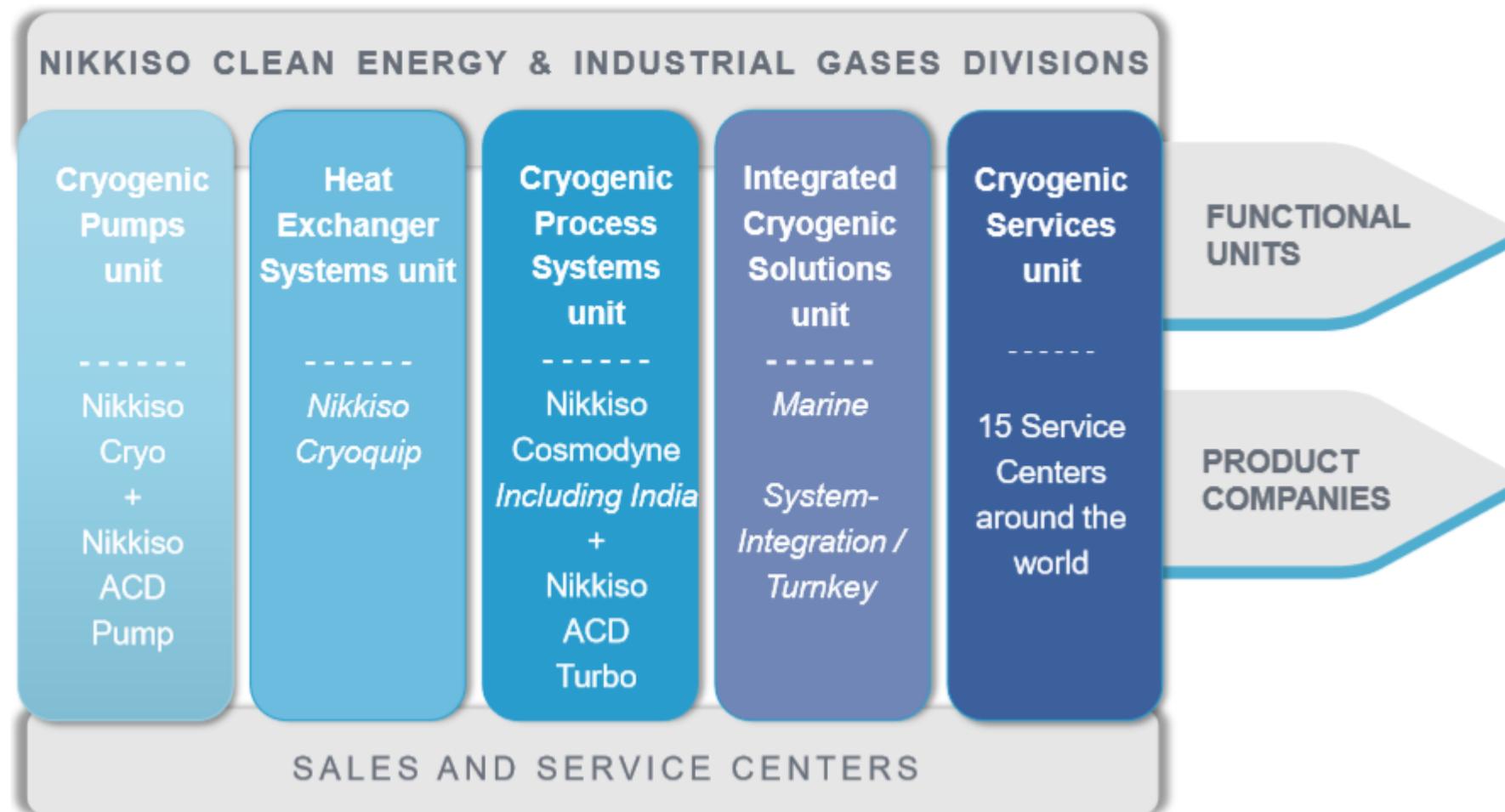
Cosmodyne社



小規模プラント建設

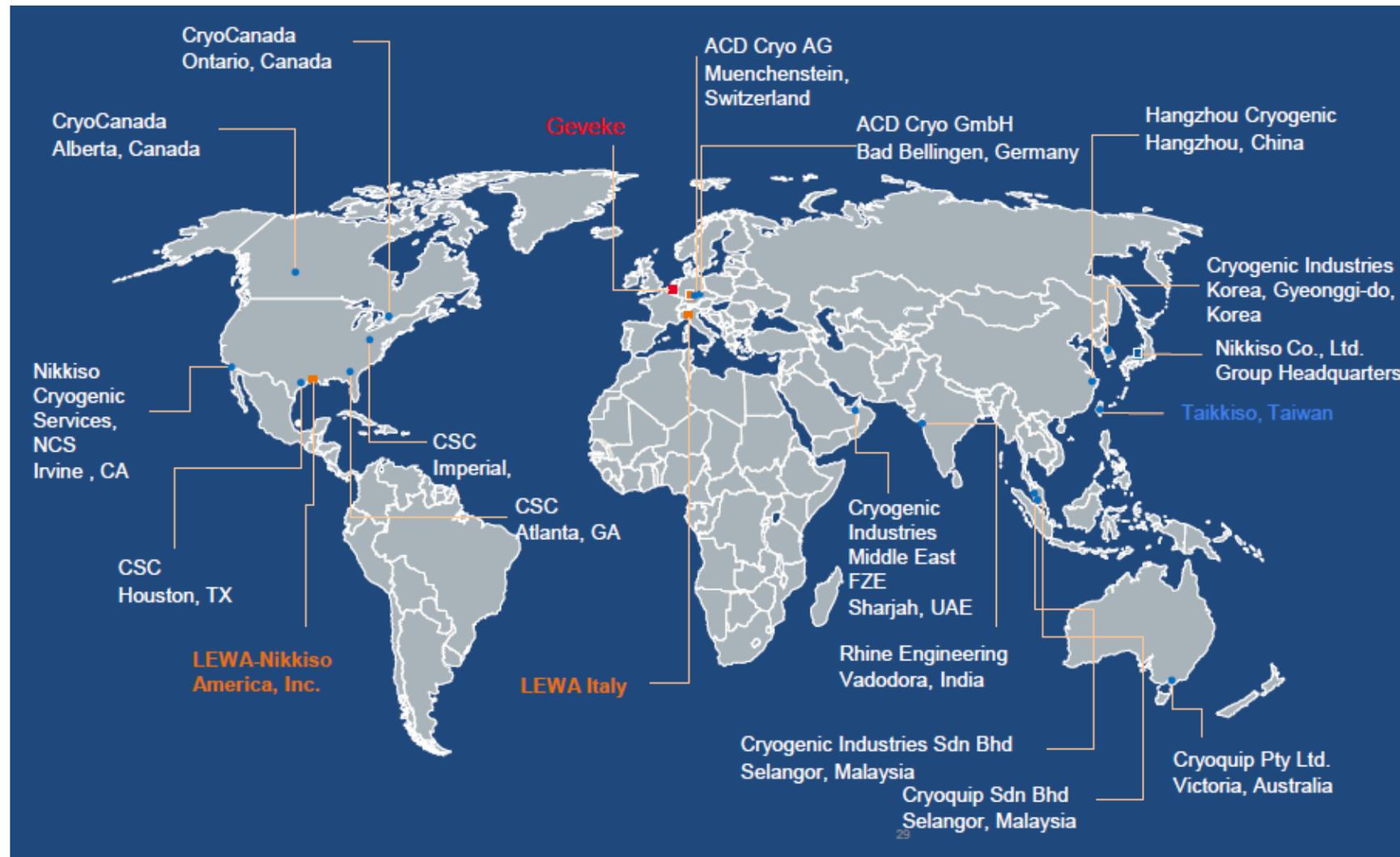
深冷空気分離装置





多様化する市場および顧客ニーズに対応するため、NCIとCIの事業運営を一体化し再編を実施

## 米国、カナダ、欧州、アジア、中東など、グループで世界を網羅するサービス網の整備



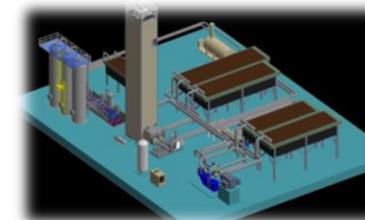
## LNG輸入ターミナル

- 2018年、インド向け案件で、NCIのクライオポンプ、Cryoquipの気化器、ACDのポンプの一括受注に成功（約10億円）。



## LNGピークシェービングプラント

- 2018年、CIとして過去最大額の米国向け案件を受注（約31億円）。
- 検討案件、引合は増加傾向にある。



## LNGバーチャルパイプライン

- 2019年、プエルトリコ向けに小型受入基地の受注に成功（約8億円）。



## 深冷空気分離装置(ASU)

- 2019年、工業ガス精製プラント向けに複数案件受注。（パナマ、マルタ、アルジェリア他）



# 今後の取り組み

## ソリューションビジネスの拡大

- 小型LNG受入基地向け、付帯設備一式供給
- バンカリング関連設備、機器、システム
- 水素スタンド、関連設備向け機器、システム
- LNG/LCNGスタンド向け、機器システム
- LNG燃料船向け、燃料供給システム

## 日機装、LEWA社、Geveke社とのグループシナジーの創出

- 販売、生産、サービスでのグループネットワークの相互活用による遂行能力の拡大と売上利益の増加
- グループ全体での調達・物流・サプライチェーンの見直しによる収益性向上
- 拠点の相互利用によるコスト低減

# Appendix

---



百万円

2018年12月期  
(2018年1-6月)  
売上収益

75,578

< インダストリアル事業・  
精密機器事業 >

事業の  
売上増加  
+ 3,590

為替影響  
△1,052

- ✓ LEWA社のオイル&ガス関連製品の販売増加、アフターセールス事業も伸長
- ✓ 大型のクライオジェニックポンプの販売増加
- ✓ CIグループのLNG関連製品の販売好調

< 航空宇宙事業 >

事業の  
売上増加  
+ 468

為替影響  
+ 126

- ✓ ファンケースライナーの販売増加

< メディカル事業 >

事業の  
売上増加  
+ 724

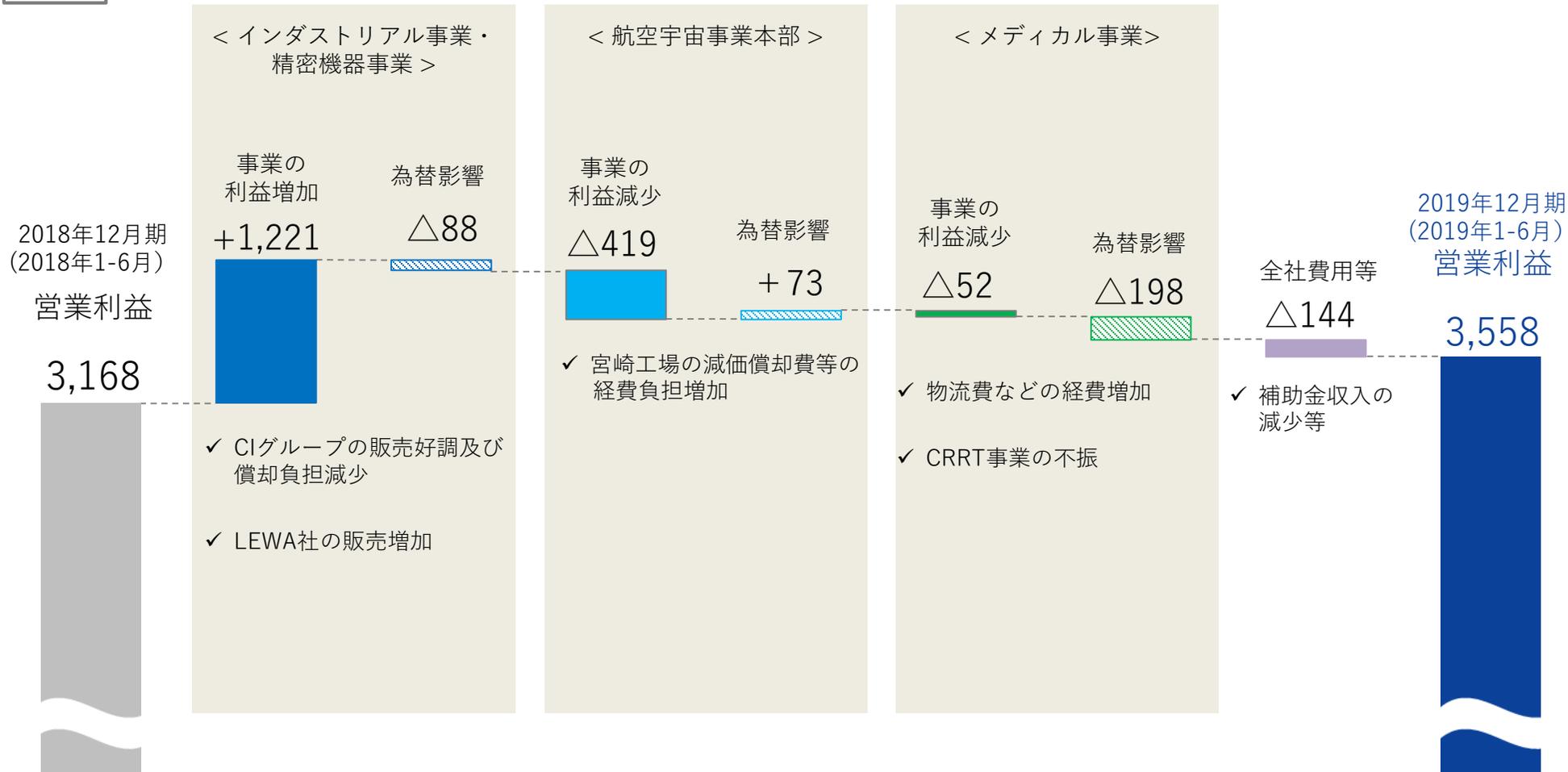
為替影響  
△478

- ✓ 血液回路、透析用剤など消耗品の販売好調
- ✓ 欧州向け血液透析装置の販売好調

2019年12月期  
(2019年1-6月)  
売上収益

78,956

百万円



# 連結財政状態計算書

百万円

	2018年12月末		2019年6月末		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
資産 合計	<b>249,788</b>	<b>100.0%</b>	<b>264,157</b>	<b>100.0%</b>	<b>+14,368</b>
流動資産	<b>121,342</b>	<b>48.6%</b>	<b>125,264</b>	<b>47.4%</b>	<b>+3,922</b>
現金及び現金同等物	<b>29,269</b>	<b>11.7%</b>	<b>34,389</b>	<b>13.0%</b>	<b>+5,119</b>
営業債権及びその他の債権	<b>54,077</b>	<b>21.6%</b>	<b>48,250</b>	<b>18.3%</b>	<b>△5,826</b>
たな卸資産	<b>33,297</b>	<b>13.3%</b>	<b>34,156</b>	<b>12.9%</b>	<b>+859</b>
非流動資産	<b>128,446</b>	<b>51.4%</b>	<b>138,892</b>	<b>52.6%</b>	<b>+10,446</b>
有形固定資産	<b>44,920</b>	<b>18.0%</b>	<b>43,955</b>	<b>16.6%</b>	<b>△964</b>
のれん及び無形資産	<b>64,255</b>	<b>25.7%</b>	<b>62,611</b>	<b>23.7%</b>	<b>△1,644</b>
負債 合計	<b>171,450</b>	<b>68.6%</b>	<b>187,895</b>	<b>71.1%</b>	<b>+16,445</b>
営業債務及びその他の債務	<b>27,380</b>	<b>11.0%</b>	<b>24,601</b>	<b>9.3%</b>	<b>△2,778</b>
社債及び借入金	<b>117,052</b>	<b>46.9%</b>	<b>122,804</b>	<b>46.5%</b>	<b>+5,751</b>
資本 合計	<b>78,338</b>	<b>31.4%</b>	<b>76,261</b>	<b>28.9%</b>	<b>△2,077</b>

※2019年12月期の資産合計・負債合計の増加は、IFRS第16号の適用に伴い、オペレーティングリースに関わる使用権資産・負債を計上したことが主な要因です。

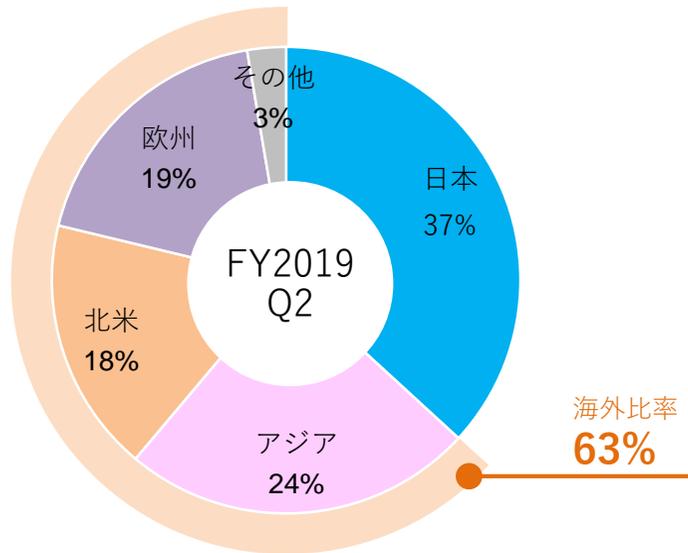
# 連結キャッシュ・フロー計算書

百万円

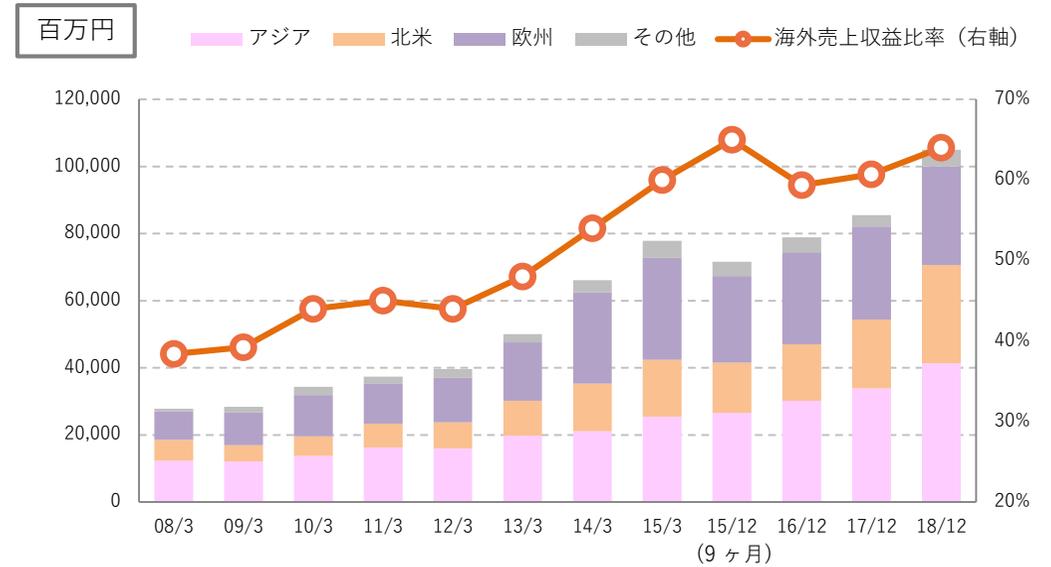
	2018年12月期 実績 (2018年1-6月)	2019年12月期 実績 (2019年1-6月)	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,124	4,985	△2,138
税引前利益	2,762	2,999	+236
減価償却費	3,092	4,421	+1,329
運転資本の増減(営業債権・棚卸資産・営業債務)	△2,740	△322	+2,418
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,764	△3,677	+1,086
有形固定資産の取得による支出	△4,233	△3,503	+730
無形資産の取得による支出	△532	△610	△77
フリーキャッシュ・フロー	2,360	1,308	△1,051
財務活動によるキャッシュ・フロー	283	4,782	+4,498
借入金の増減	1,095	7,084	+5,988
配当金の支払い	△569	△711	△142
現金及び現金同等物の期末残高	35,794	34,389	△1,404

# 地域別売上収益

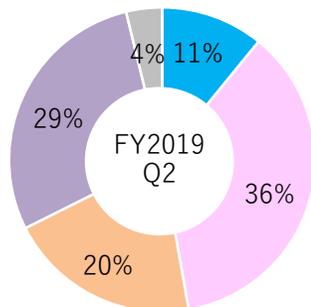
グループ全体



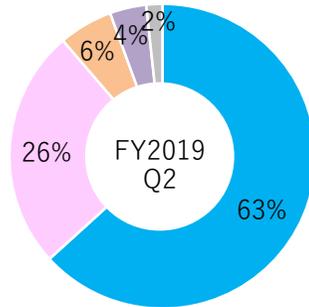
海外売上収益の推移



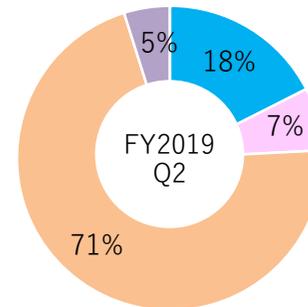
インダストリアル事業



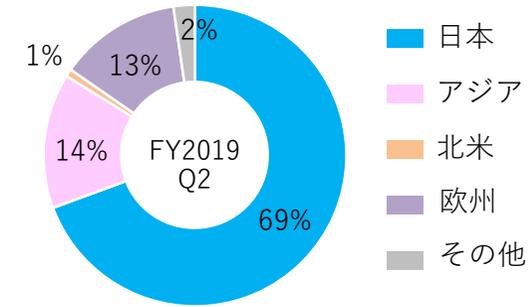
精密機器事業



航空宇宙事業



メディカル事業



- 日本
- アジア
- 北米
- 欧州
- その他

# 為替感応度の内訳

※1円 円安になった場合の影響額

億円	予測 (2019年12月期 12月末)			
	米ドル		ユーロ	
	売上収益	営業利益	売上収益	営業利益
インダストリアル事業 ・精密機器事業	+2.9	+0.2	+3.0	+0.3
航空宇宙事業	+1.4	+0.8	+0.0	+0.0
メディカル事業	+0.1	△0.3	+0.7	+0.3
<b>合計</b>	<b>+4.3</b>	<b>+0.8</b>	<b>+3.7</b>	<b>+0.6</b>
期中平均為替/ 業績予想前提レート (円) (8/9修正予算)		<b>109.00</b>		<b>122.00</b>

# 経営指標の推移

	2016年12月期	2017年12月期	2018年12月期
基本的1株当たり当期利益	66.08円	72.82円	104.63円
親会社所有者帰属持分当期利益率 (ROE)	7.2%	7.3%	9.8%
資産合計税引前利益率 (ROA)	3.8%	3.9%	3.9%
売上収益営業利益率	6.2%	6.2%	6.2%
親会社所有者帰属持分比率	37.4%	30.7%	30.7%
DEレシオ	1.05倍	1.63倍	1.53倍

百万円

	2016年12月期	2017年12月期	2018年12月期
設備投資	7,635	7,508	12,869
研究開発費	1,679	2,435	2,387
減価償却費	4,766	5,246	6,335

# インダストリアル事業の受注高・受注残高の推移



百万円

## 受注高

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
2017年12月期	<b>11,261</b>	<b>14,331</b>	<b>14,132</b>	<b>19,103</b>
内、海外	9,487	12,241	12,425	17,113
2018年12月期	<b>20,066</b>	<b>19,760</b>	<b>18,808</b>	<b>23,604</b>
内、海外	18,316	17,659	16,974	20,488
2019年12月期	<b>21,676</b>	<b>19,727</b>		
内、海外	20,422	16,050		

## 受注残高

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
2017年12月期	<b>29,727</b>	<b>30,582</b>	<b>39,461</b>	<b>38,198</b>
内、海外	26,570	27,174	36,036	34,834
2018年12月期	<b>43,058</b>	<b>44,457</b>	<b>43,496</b>	<b>43,674</b>
内、海外	40,088	41,298	40,305	39,608
2019年12月期	<b>47,813</b>	<b>49,402</b>		
内、海外	44,435	44,282		

# 売上収益の推移

百万円

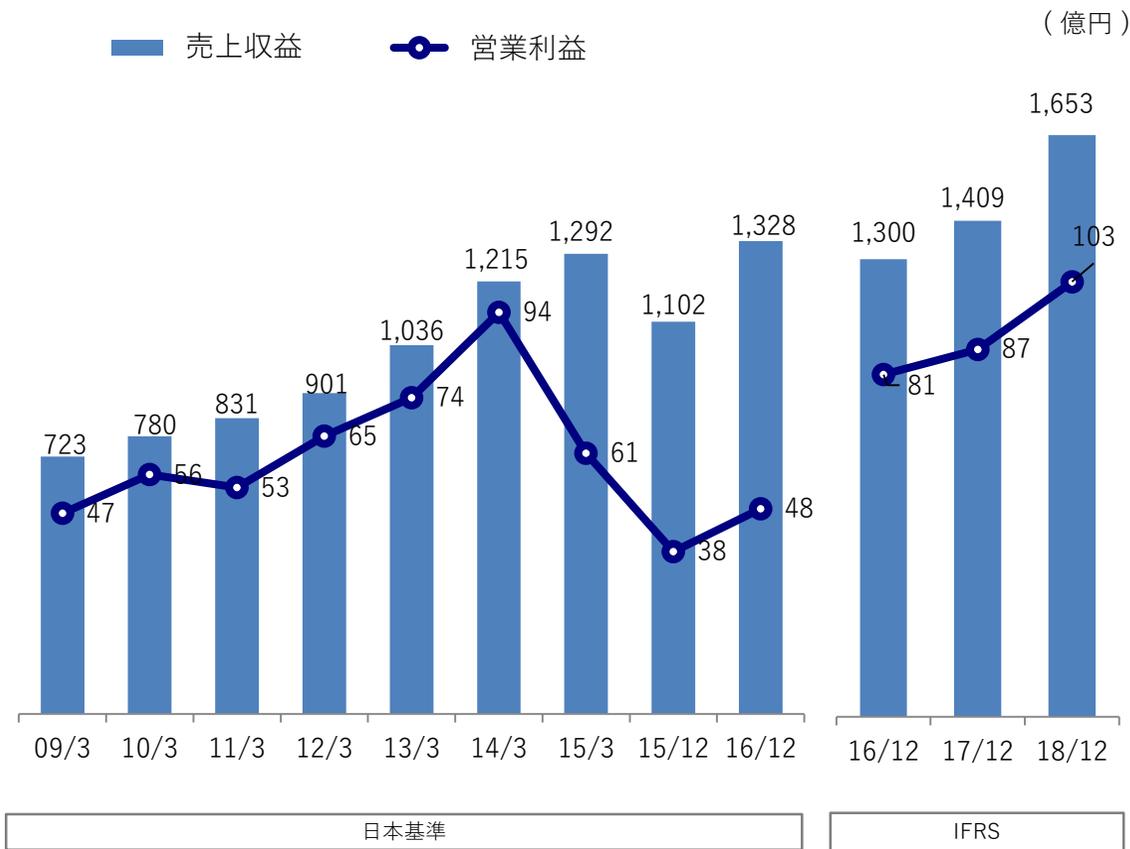
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
インダストリアル事業	2017年12月期	<b>10,522</b>	<b>13,476</b>	<b>15,274</b>	<b>20,443</b>
	内、海外	8,321	12,502	13,393	16,986
	2018年12月期	<b>15,206</b>	<b>18,361</b>	<b>19,770</b>	<b>23,426</b>
	内、海外	13,247	16,289	17,809	21,203
	2019年12月期	<b>17,536</b>	<b>18,138</b>		
	内、海外	15,595	16,203		
精密機器事業	2017年12月期	<b>2,421</b>	<b>2,377</b>	<b>2,070</b>	<b>2,975</b>
	内、海外	745	885	821	775
	2018年12月期	<b>2,516</b>	<b>2,640</b>	<b>2,187</b>	<b>3,339</b>
	内、海外	604	794	739	1,177
	2019年12月期	<b>2,518</b>	<b>2,947</b>		
	内、海外	896	1,113		
航空宇宙事業	2017年12月期	<b>3,578</b>	<b>3,991</b>	<b>3,779</b>	<b>4,202</b>
	内、海外	2,920	3,606	3,306	3,865
	2018年12月期	<b>3,792</b>	<b>4,213</b>	<b>3,924</b>	<b>4,980</b>
	内、海外	3,301	3,648	3,114	4,240
	2019年12月期	<b>4,168</b>	<b>4,431</b>		
	内、海外	3,389	3,704		
メディカル事業	2017年12月期	<b>12,964</b>	<b>13,521</b>	<b>13,114</b>	<b>16,085</b>
	内、海外	3,834	3,959	4,623	3,671
	2018年12月期	<b>12,936</b>	<b>15,855</b>	<b>13,943</b>	<b>18,090</b>
	内、海外	4,148	4,586	4,682	5,335
	2019年12月期	<b>13,175</b>	<b>15,861</b>		
	内、海外	4,193	4,703		

# 会社情報

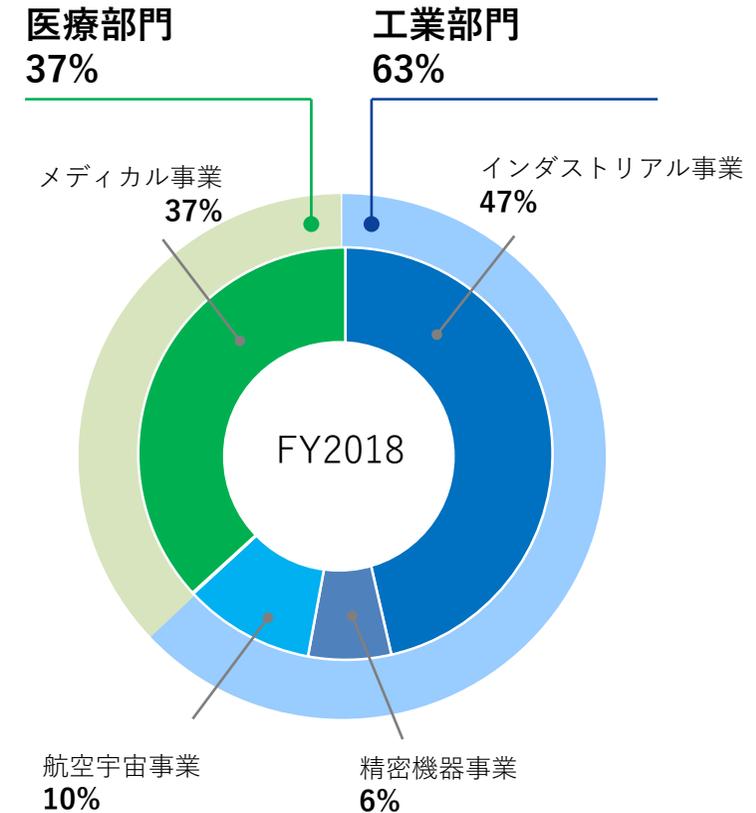
---

# 連結売上収益

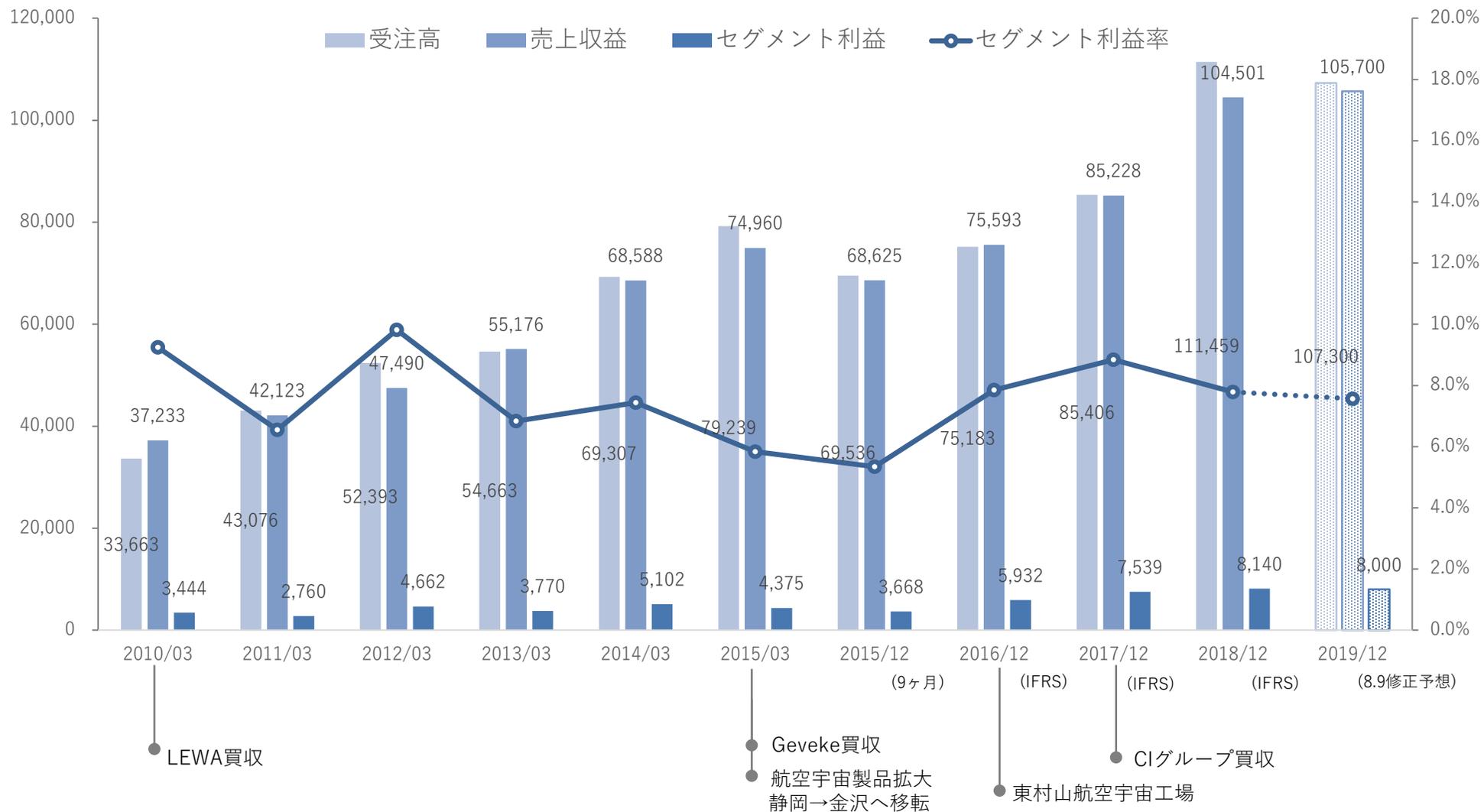
## 売上収益 / 営業利益



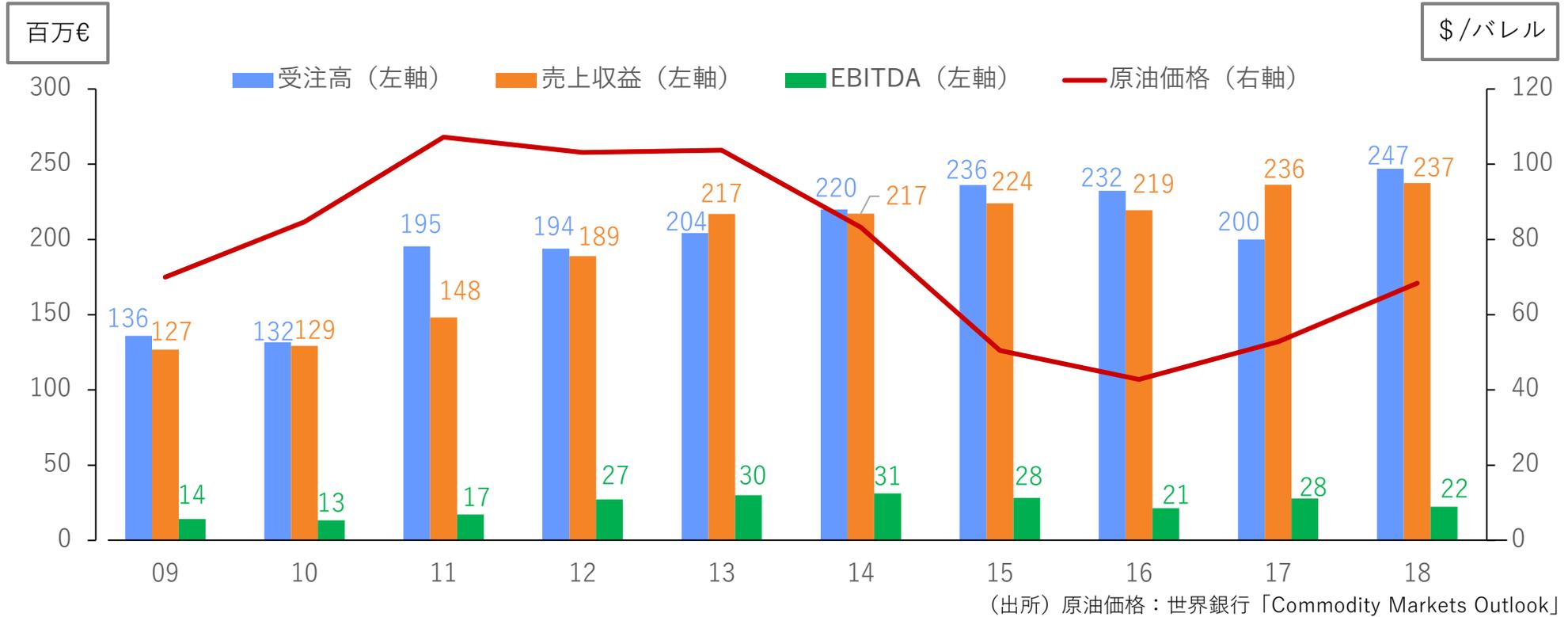
## セグメント別売上収益



# 工業部門業績推移

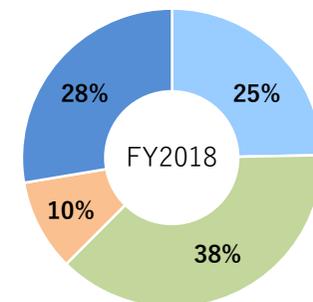
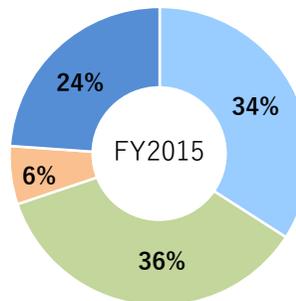
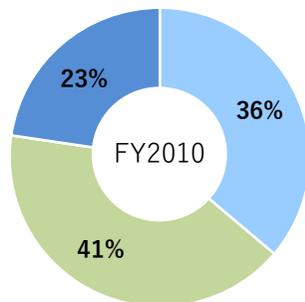


# LEWA社 過去10年間の業績推移

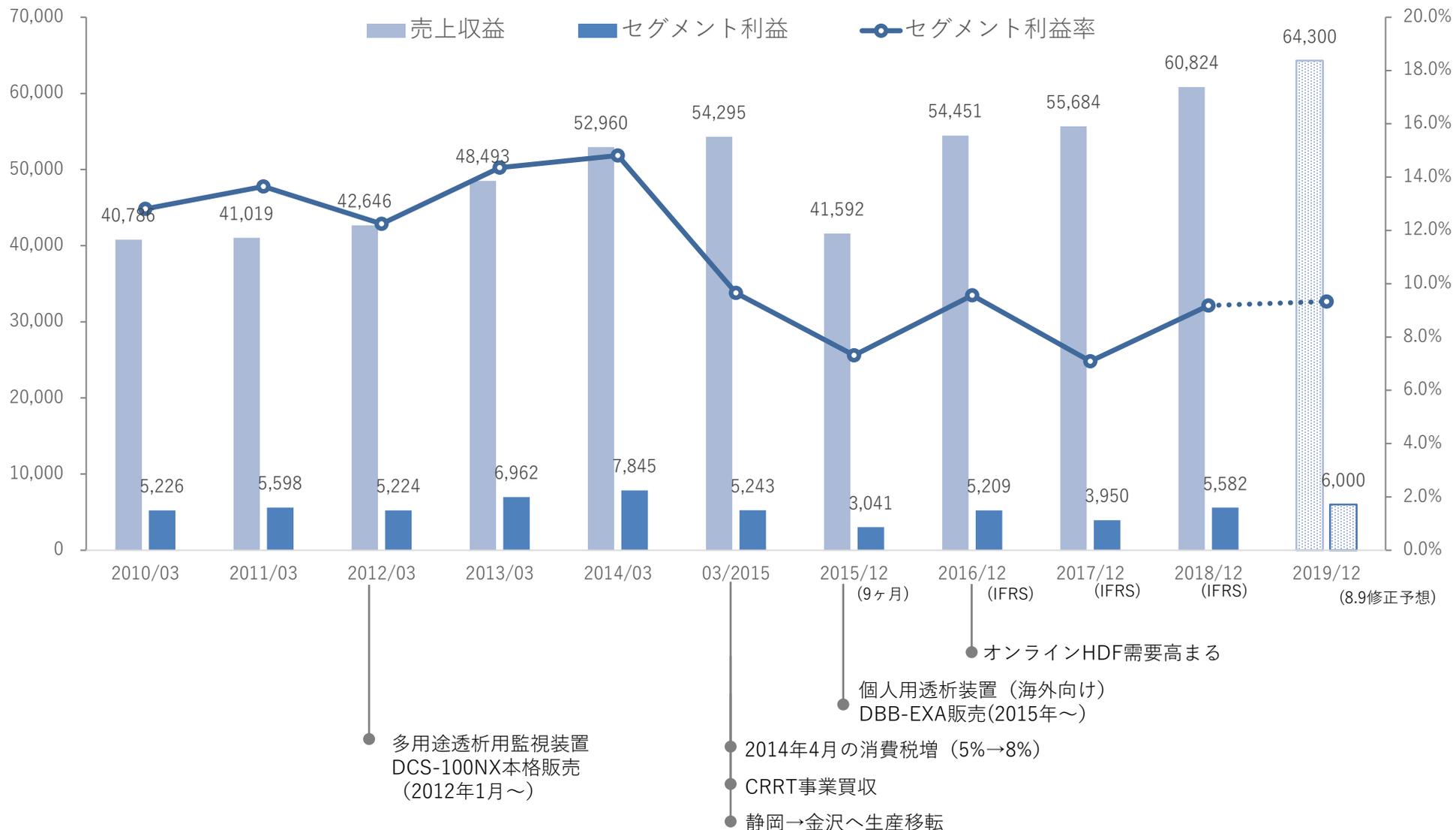


## 売上収益構成比

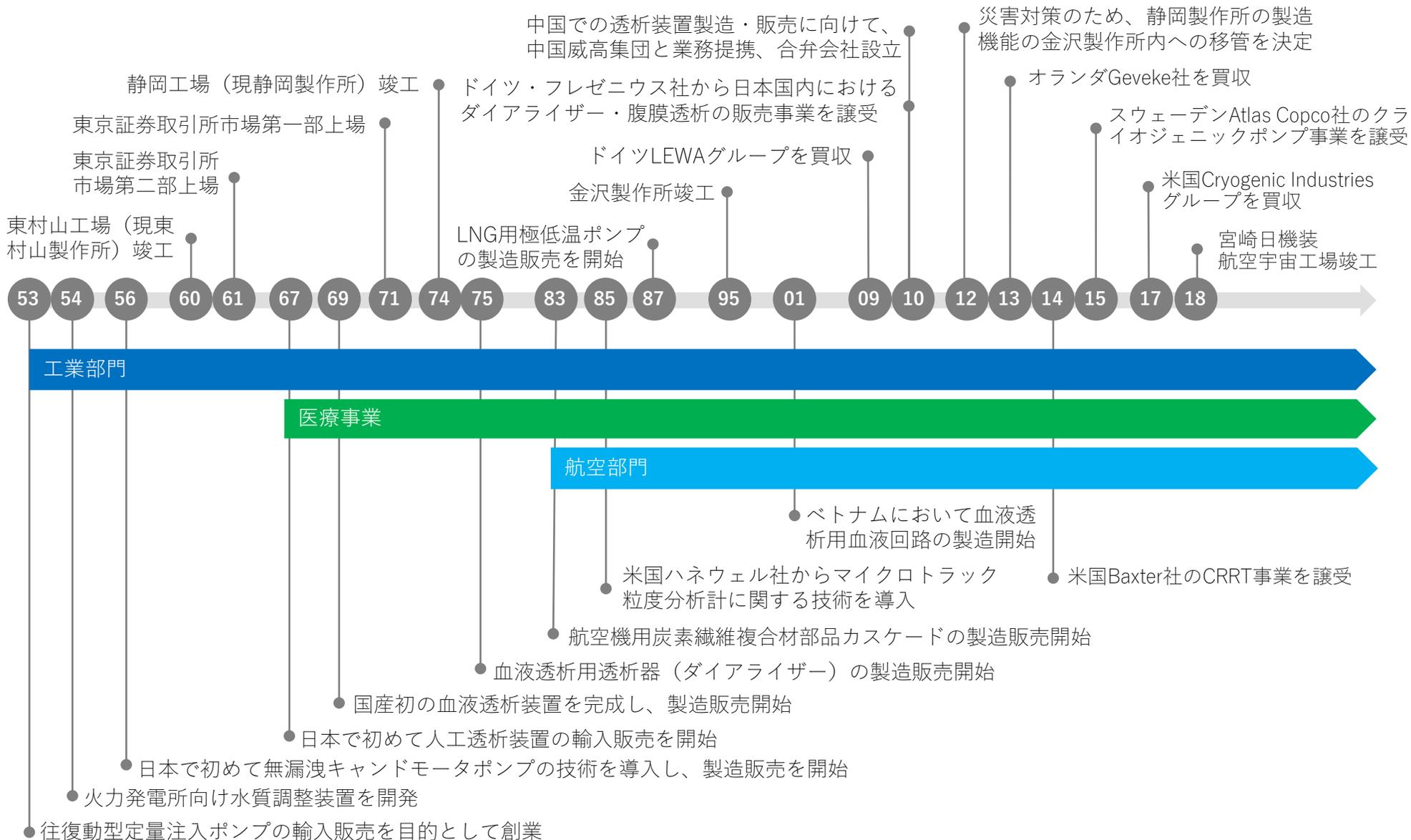
- オイルガス
- プロセスインダストリー
- クリーンマーケット
- アフタサービス



# 医療部門業績推移



# 日機装グループの歩み 沿革



工業部門

医療事業

航空部門

ベトナムにおいて血液透析用血液回路の製造開始

米国ハネウェル社からマイクロトラック粒度分析計に関する技術を導入

米国Baxter社のCRRT事業を譲受

航空機用炭素繊維複合材部品カスケードの製造販売開始

血液透析用透析器（ダイアライザー）の製造販売開始

国産初の血液透析装置を完成し、製造販売開始

日本で初めて人工透析装置の輸入販売を開始

日本で初めて無漏洩キャンドモータポンプの技術を導入し、製造販売を開始

火力発電所向け水質調整装置を開発

往復動型定量注入ポンプの輸入販売を目的として創業

